

安全データシート (S D S)

1. 化学品及び会社情報

製品名	326クリーナー
会社名	KeePer技研株式会社
住所	愛知県大府市吉川町4-17
担当部門	製品部
電話番号	0562-45-5258
FAX番号	0562-45-5268
奨励用途	自動車用コーティング除去剤
使用上の制限	上記用途以外に使用しない
作成日	2020年2月20日
改定日	2022年2月1日
整理番号	I-2020-0203
改定番号	

2. 危険有害性の要約

GHS分類

項目	区分
エアゾール	—
引火性液体	区分3 H226
急性毒性 (経口)	—
急性毒性 (吸入)	—
皮膚腐食性/刺激性	—
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1 H318
呼吸器感受性	—
生殖細胞変異原性	区分1B H340
発ガン性	—
生殖毒性	区分1A H360
標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	区分1 H370、区分3 H335, H336
標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	区分1 H372
誤えん有害性	—
水生環境有害性 短期 (急性)	—
水生環境有害性 長期 (慢性)	—

※区分の記載がないものは、区分に該当しない、又は分類できない。

GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H226	引火性の高い液体および蒸気
H318	重篤な眼の損傷
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H340	遺伝性疾患のおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H370	臓器 (中枢神経系、腎臓及び全身毒性) の障害
H372	長期にわたる又は反復暴露により臓器 (肝臓・中枢神経系) の障害

注意書き

安全対策：

- ・取扱後は手、顔などをよく洗う。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用する。
- ・使用前に取扱説明書を入力する。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。
- ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
- ・使用する時に飲食または喫煙をしない。
- ・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざける。禁煙。
- ・容器を密閉し、涼しいところに置く。
- ・容器を接地すること/アースをとる。
- ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用する。
- ・火花を発生させない工具を使用する。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずる。
- ・指定された個人用保護具を使用する。

応急措置：

- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受ける。
- ・皮膚（または髪）に付着した場合直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ/取り除き、皮膚を流水/シャワーで洗う。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。ただちに医師に連絡する。
- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断/手当てを受ける。
- ・火災の場合消火に水噴霧、泡、ドライケミカルまたは炭酸ガスを使用する。

保管：

- ・凍結の恐れのある所、40℃以上になるところを避け、換気のよい冷暗所に施錠して保管する。

廃棄：

- ・内容物/容器を都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

成分名/化学名	含有量(%)	CAS No.	化審法No.	安衛法No.
エチルアルコール	50-57	64-17-5	(2)-202	No. 61
イソプロピルアルコール	1-1.9	67-63-0	(2)-207	No. 494
n-プロピルアルコール	1-1.9	71-23-8	(2)-207	No. 494
水	—	—	既存	非該当

労働安全衛生法： 該当。表示・通知対象物質。

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則： 非該当。IPA 5%以下の為。

P R T R 法報告物質： 非該当

4. 応急措置

吸入した場合： 被災者を新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 多量の水及び石鹼で洗い流し、症状が出た場合等、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合： まぶたを指でよく開いて、清浄な水で15分以上洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませ、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。被災者に意識がない場合には、口から何も与えてはならない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状： 特になし。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項： 特になし。

医師に対する特別な注意事項： 特になし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 粉末消火剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤： 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時特有の危険有害性： 特になし。

特有の消化方法：

- ・適切な保護具を着用する。
- ・火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
- ・消火作業は、可能な限り風上から行う。
- ・移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火活動を行うものの特別な保護具及び緊急時措置 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

置：

追加情報： 特になし。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置：

- ・関係者以外の立入りを禁止する。
- ・作業の際には保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
- ・多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項： 漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

- ・少量の場合は乾燥砂、土、その他不燃物のものに吸収させて回収する。
- ・多量の場合は、盛土で囲って流出を防止する。
- ・漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは関係法法規に基づいて処理する。

二次災害の防止策： 特になし。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：

- ・皮膚、着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。
- ・取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- ・取扱いは、換気のよい場所で行う。
- ・火気その他点火源となる恐れのあるものに接近させたり、加熱しない。
- ・蒸気の発散を抑え、換気を心掛ける。
- ・容器はその都度閉栓する。
- ・作業中は帯電防止型の作業服、靴を使用する。

保管

適切な保管条件：

- ・火気・熱源から遠ざけて保管する。
- ・消防法上の貯蔵設備で保管し、通風を良くし蒸気が滞留しないように保管する。
- ・不燃性の気密容器にて、温度・湿度・遮光に注意し換気の良い冷暗所に密栓して保管する。

適切な包装材料： 密栓できる容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

製品としての情報なし。

成分としての情報。

成分名	管理濃度/ppm	許容濃度/ppm (日本産業衛生学会)	許容濃度/ppm (ACGIH)
エチルアルコール	1,000	1,000	1,000
イソプロピルアルコール	200	400	400
n-プロピルアルコール	—	—	100

※記載の無いものは、知見なし、あるいはデータなし。

設備対策

静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。
排気装置を設置し、蒸気が滞留しないようにする。
取扱い場所の周囲には高温、発火源となるものを設置しない。

保護具

呼吸用保護具： 密閉された場所では送気マスクを使用する。
手の保護具： ゴム保護手袋を使用する。
眼・顔面の保護具： 保護眼鏡を使用する。
皮膚及び身体の保護具： ゴム前掛け、安全靴等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色透明
臭い	アルコール臭
融点/凝固点	—
沸点又は初留点及び沸騰範囲	78.3℃
可燃性	—
爆発限界及び爆発上限界/可燃限界	—
引火点	26℃

自然発火点	—
分解温度	—
pH	7.5
動粘性率	4.0mPa・S
溶解度	水溶性
n-オクタノール/水分分配係数(log値)	—
蒸気圧	—
密度及び/又は相対密度	0.875
相対ガス密度	—
粒子特性	—

※記載なしは知見・データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では安定。
科学的安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	過塩素酸、過酸化ナトリウム、過酸化水素、クロム酸、硝酸等と激しく反応する。
避けるべき条件	加熱、高温、静電放置。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報	データなし。
成分の有害性情報	
急性毒性	経口 LD50 5,000mg/kg以上 (ラット) 経皮 LD50 10,000mg/kg以上 (ラット)
皮膚腐食性/刺激性	データなし。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	n-プロピルアルコール 区分1 臓器の障害
呼吸器感作性または皮膚感作性	データなし。
生殖細胞変異原性	エタノール 区分1B 遺伝性疾患のおそれ
発がん性	データなし。
生殖毒性	データなし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	イソプロピルアルコール 区分1 臓器の障害、区分3 気道刺激性
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	エタノール 区分1 長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
誤えん有害性	イソプロピルアルコール 区分2 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ

12. 環境影響情報

製品としての環境影響情報	本品の環境毒性に関するデータは存在しない。
成分の環境影響情報	エチルアルコール
生体毒性	96hr LC50 100mg/L
残留性・分解性	データなし。
生体蓄積性	データなし。
土壤中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に列記されたオゾン層破壊物質を含有しない。

13. 廃棄上の注意

引火性液体に関する注意事項の他、廃棄物処理の関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこへ委託して処理する。処理を委託する場合は、処理業者に危険性、有害性を充分告知の上、処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国連番号	1986
国連分類	アルコール、引火性、クラス3
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
国内規制	
容器イエローラベル	
積載方法	—
混載禁止	—
輸送の特定の安全対策及び条件	容器の破損、漏れがないことを確かめる。 転倒、落下、破損がないように積み込む。 荷くずれ防止を確実に行う。

15. 適用法令

火薬類取締法	対象外
消防法 ()内は指定数量	非危険物
毒物及び劇物取締法 (毒劇物取締法)	対象外
労働安全衛生法	表示・通知対象物質：イソプロピルアルコール、エチルアルコール、 n-プロピルアルコール
労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則	非該当
特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の 促進の改善の促進に関する法 (PRTR制度)	非該当

16. その他の情報

- 参考文献
- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法、ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) JIS - Z - 7253 : 2019
 - ・化学品の分類及び表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂8版 (国際連合文書 2019)
 - ・経済産業省 GHS対応 化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度
 - ・厚生労働省 有機溶剤中毒予防規則

※注意 安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保する為の参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。